

令和3年6月1日(火)



公益財団法人 長井法人会 青年部会長さんをはじめ3名の方々がご来校くださり、5・6年生を対象に租税教室を開いてくださいました。

「約50種類ある税金を合わせた約62兆円は何に使われているのか」という質問から、子ども達の教科書にも触れてくださいました。裏表紙には、「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書いてあり、改めて公教育のありがたさと責任の重さを感じました。

一人一人1億円の札束のレプリカを持ったり、友達と協働的に税金が使われているものと使われていないものを分別したりと、手指消毒等感染防止対策にも気を使っていただきながら、体験的な活動を取り入れて授業を進めてくださいました。

DVDを視聴した後、まとめとして、「みんなが必要な時、誰でも使えること・ものを『公共』と言います。税金は、豊かで夢のある生活のための皆で出し合う会費みたいなものです。」と青年部会長さんが教えてくださいました。

子ども達からは、「今日は税金のことを学んで、防災ヘリが1台16億円もするなんてすごいと思いました。」
「私は、公共の場として、学校などは税金で建てられていると分かったので、大切に使いたいと思いました。」
という感想発表がありました。

記念品として、税金についての冊子の他に、下敷きや鉛筆、蛍光ペン、マスクケースまでいただきありがとうございました。

令和3年6月3日（木）



6月1日（火）から3日間、飯豊中学校第3学年の3名が職場体験に来ていました。

校長講話では、人生100年時代に50年くらい働く世代の3人へ、ある書籍の要約動画を一緒に視聴しながら、予測困難な変化の激しい時代をしなやかに生きてほしいという願いを伝えました。

この3日間で、2年生、3・4年生、5・6年生の各教室で各担任の授業補助につくだけではなく、来客の対応としてお茶出し、会議資料の印刷、給食の準備、校外学習の自転車での引率、プール清掃、生活科ルームの椅子のペンキ塗り、図書のパークード入力、中間休みの5分間走と共遊、下校を待つ2年生への読み聞かせ、下校時の昇降口での整列・挨拶等、様々な学校運営を体験的に学びました。

この経験をいかして、今後も人とのつながりを大切にしながら自己理解を深め、持続可能な社会の創り手となってほしいと思います。

令和3年6月7日（月）



本日、ネットトヨタ山形の社長さんと、地元高峰地区在住のサービス係長さんがご来校なさいました。そして、全校朝会の場で社長さんが直接、「足踏み式消毒スタンド『しょうどく大使』」1台を学校に寄贈してください、代表児童がお礼の言葉を伝えました。これから水泳の授業で大いに活用させていただきます。

全校朝会の校長講話では、「新型コロナウイルスに負けないためにぼくたち・わたしたちが『できること』』という話をしました。学校の合言葉「【い】いのちを大切に」に関わって、①手洗い・消毒、②マスク（せきエチケット）、③かぜなら休むという3つに加え、学校の合言葉「学校の合言葉【お】思いやり」に関わって、差別・いじめをしないこと、そのために、自分の不安な気持ちをお家の人や先生、友達に正直に伝えて、お互いに支え合うことが大切だということをお伝えしました。

新型コロナの感染症だけでなく、新型コロナへの不安や恐怖まで感染することにより、差別・いじめまで感染してしまいます。引き続き感染防止対策に取り組みながらも、心の距離を縮めるための集団活動を充実させていきたいと思ひます。

令和3年6月11日（金）



また、総会では、会員数が減少する中で、何とか事業費の予算を確保し、孫らのために事業を実施したいという強い思いが伝わってきました。

校長からは、冒頭の挨拶時にお時間を頂戴して、学校経営の概要と祖父母の皆様をお願いしたいことを直接お伝えすることができました。夢や希望に向かうお孫さんの最強応援団として、我々教職員と共に手ノ子小の子ども達を支えていただきたいと思います。

昨日、祖父母学級学習参観・総会を実施することができました。当初の予定より約1ヶ月遅くなりましたが、その分、臨時休業から始まった昨年度と違い、年度当初から2か月以上様々な教育活動を通して成長してきた子ども達の姿をご覧いただくことができました。

令和3年6月15日（火）



昨日、全校で2年ぶりにプール清掃を実施しました。予備日として本日も計画に入れておりましたが、天気予報で昨日から本日にかけて雷注意報が出ていたため、急遽昨日のうちに時間を午前中に変更して行いました。急な時間変更にも関わらず、祖父母学級の会長・副会長様をはじめ、西地区公民館の職員の皆様、地域の方々にご協力いただき大変助かりました。

昨日、全校で2年ぶりにプール清掃を実施しました。予備日として本日も計画に入れておりましたが、天気予報で昨日から本日にかけて雷注意報が出ていたため、急遽昨日のうちに時間を午前中に変更して行いました。急な時間変更にも関わらず、祖父母学級の会長・副会長様をはじめ、西地区公民館の職員の皆様、地域の方々にご協力いただき大変助かりました。

創立記念式の際、校長から、創立100周年記念事業として、協賛会の方々が多額の寄付を集めてくださり、低学年用補助プールの完成までプール建設の事業を行ってくださったことを話していました。子ども達は、先輩が残してくださった手ノ子小のプールを大事に使おうと、底に溜まった2年分の泥や汚れを、バケツですくい上げたりたわしで擦ったりと、自分ができる仕事に一生懸命取り組んでいました。

先週10日（木）には職員の救急蘇生法を含む緊急時の対応について確認を終え、あとは来週22日（火）のプール開きを待つばかりとなりました。昨年度学習できなかった分も含めて、より安全に個に応じたきめ細やかな指導・支援をしていきたいと思ひます。

令和3年6月23日（水）



昨日、プール開きを行いました。校長からは、「学校で何のために水泳学習をするのか」について考えてもらいました。児童の一人から発言があったとおり、水の中で自分の命を守れる力を身に付けなくてはなりません。その力とは、「水面にいる時も、水中に潜っている時も、同じように平気できちんとした動きができる力」「うつ伏せの時も、あお向けの時も、同じように平気できちんとした動きができる力」だと簡単に説明しました。さらに、「どうしたら平気できちんとした動きができるのか」を考えてもらいました。

児童からは「怖がらない」というつぶやきがありました。息ができなくなる怖さを感じているようです。

「水面にいる時に吸って、水中にいる時に吐いて、陸地にいる時と同じように呼吸を止めないでいろいろな動きができるようになること」が大事だということをお伝えしました。

児童と教職員はもちろんのこと、PTAや祖父母学級の方々、西部地区公民館の職員をはじめとする地域の方々、職場体験の中学生等たくさんの方々から、プール清掃にご協力いただきました。また、高橋工務店（株）様には、ボランティアで排水口と排水管の清掃をしていただきました。おかげさまで、2年ぶりに水泳学習を行うことができます。昨年度、新型コロナの影響で実施できなかった分、いつも以上に進んで体育の学習に取り組んでほしいと思います。